



# 浦島伝説

## グズグズしていることは、時間を盗まれることである

先日の全校集会で、『時の記念日』の話をしました。学校生活においても、「時を守る」場面がたくさんあります。例えば、「朝は7時55分までに教室に入る」「授業開始2分前に着席する」「12時25分までに運搬を完了する」「3時35分には帰りの会を始める」などです。学校という集団生活の場においては守らなければならないものです。学校生活のルールであり、中学生としてのマナーでもあります。

その一方、家庭では、自由な時間が多くあり、だらだらと過ごしてしまいがちになります。周りにあまり迷惑がかからないし、家族なら許してくれるだろうという甘えがあるからでしょう。もちろん、家庭は安心できる場所であり、心や身体をリフレッシュすることも必要でしょう。でも、時間は貴重なものです。上に紹介したイギリスの詩人エドワード・ヤングの言葉のように、大切に使ってほしいと思います。

6月10日は『時の記念日』です。昔から、人類は、平等・公平の考えに基づき、いろいろな事柄に「共通の基準」(物差し)を作ってきました。「長さの基準」は、地球の大きさを基に1mを決めました。今は、3億分の1秒間に光が進む距離です。「重さの基準」は、長さの物差しでつくった升(1cm×1cm×1cm=1cm<sup>3</sup>)に入れた水の重さを1gとしました。「時間の基準」は、地球の自転が基準で、地球が1回転する時間を1日、1日を24等分した1つ分を60分、1分を60秒と決めました。しかし、誤差があるため、4年に1回、1日分付け加えることで補正しています。これが時間の単位です。日本では、西暦671年、天智天皇(中大兄皇子)が水時計をつくったのが6月10日であることから、1920年に東京天文台と生活改善同盟会によって、日本国民は「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図らなければならない」と呼びかけ、時間の大切さを尊重する意識を広めるため、6月10日が『時の記念日』となりました。

本校でも、学校生活の3本柱として、“時を守る”“場を清める”“礼を尽くす”を呼びかけています。“時を守る”は『時の記念日』の主旨である「時間をきちんと守り、生活の改善・合理化を図る」ためのものです。時は、全ての人に対して平等にあります。その時間を有意義に使うか、無駄に使うかは、一人一人の意志によって差が出ます。自分が自由にできる時間のすべてを有意義に使うことはなかなかできるものではありませんが、ときには、無駄といえる時間、ゆとりを持つことも大切です。そのメリハリが、生活リズムです。寝るとき、起きるとき、勉強するとき、遊ぶときなど、いいリズムを作って精神的にも肉体的にも活力と集中力を持って、毎日の生活を送ってください。 ※全校集会の話から

## トリプルT (Takuchu Target Three) 途中経過

昨年度の「トリプルT」は、Takuchu Target Tenとして、10のターゲットを決めて取り組んできました。もちろん、10個ともできて当たり前なことばかりでしたが、なかなか達成できなかったのは、項目が多く、生徒たちの意識がすべてに集中できなかったのではないかと反省がありました。

そこで、今年は、項目をTenからThreeに絞って、6月から取り組みを開始しました。しかし、なかなか全クラスの足並みがそろいません。給食運搬については、すべてのクラスがクリアすることがなかったため、昨日は給食前に生徒指導の横田先生が放送しましたが、それでも2クラスが達成できませんでした。

ちなみに、昨年度の6月は、すべてのクラスが達成できた日が8日もありました。ぜひとも、昨年より進歩した姿を見せてもらいたいものです。今からでも挽回できます。がんばってください。

**ターゲット1：全クラス「名札・バッジ忘れゼロ」を15日達成する。**

すべて0のクラス → 1-4

3人未満のクラス → 1-1、2-1、2-2、2-4、3-1、3-3

**ターゲット2：全クラス「給食運搬完了12:25」を10日達成する。**

すべて◎のクラス → 1-1、1-2、3-1、3-2

**ターゲット3：「友人とのトラブル件数・問題行動」を0件にする。**

現時点でわかっている件数 → 0